

# 熊本教育新聞

## 75名の参加で盛り上がる

### 春の教育実践&専門職講座

熊教組は、5月1日に熊本県教育会館で「春の教育実践&専門職講座」を開催し、75名(うち未組織20名)の参加を得て、8分科会で実践交流が行われ、盛り上がりを見せた。



「学級づくり」講座

講座に先立ち、杉田委員長は、「三密」を避けるため館内放送で「子どもを真ん中にした教育実践を築い

てきたのは教職員組合であり、その実践を学ぶとともに、組合にぜひ加入をと呼びかけた。

この企画は1月9日に予定をしていたが、荒天(大雪)で急遽中止にしたもの。今回は「コロナ禍」で開催が危ぶまれたものの、結果として新規採用者も8名の参加があり、終了後のアンケートでも極めて高評価で、ニーズの高さが窺われた。(詳細は2面)

### 65歳定年延長に現実味

政府は、昨年の通常国会で廃案となった国家公務員の定年を65歳に段階的に引き上げる法案を今国会に再提出した。

法案は、1963年4月2日以降生まれの人の定年を61歳とし、2年毎に1歳ずつ引き上げ、67年4月2日以降生まれの人の定年を

65歳にするというもので、衆議院を通過し、現在参議院で審議が行われている。成立が現実味を帯びてきた。この法案が成立すれば、我々地方公務員の定年も同様の扱いとなる。今の学校の労働環境で、果たしてどれくらいの人々が65歳まで働き続け定年を迎

機関紙  
発行所  
熊本県教職員組合  
熊本市中央区九品寺  
1-11-4  
☎096-372-1500  
http://www.e-ktu.com  
編集発行人・杉田正幸  
定価 一部50円  
(組合員の購読料は組合費に含む)

### 学校の労働環境の改善を 人事委員会要請行動で強く要望

熊教組は、熊本県公務員労働組合共闘会議の一員として、4月22日に熊本県人事委員会に対して要請行動を行い、人事委員会からは工藤公務員課長らが対応した。



資料を基に発言する杉田委員長

この要請行動は、例年、民間給与実態調査の実施に対する要請が主なものだったが、今年度は「人材確保および育成」「働き方改革と職場環境の整備」の項目を新たに加え、人事委員会勧告に盛り込んで欲しい事柄について調査・検討を要望した。

「三密」を避けるため参

えることが出来るだろうか。現状では多くの人が「若年退職」をせざるを得なくなるかも知れない。労働環境の改善(実効性のある働き方改革の推進)を全教職員でとりくまなければならぬことは明らか

加人員を絞った要請行動であったが、熊教組の杉田委員長は、具体的資料を基に「臨時的任用教職員の処遇の改善」「教職員の勤務実態についての精確な調査」「労働安全衛生の推進への適切な指導」を強く要望した。

である。「勤務条件について当局と交渉できる組合に加入し働き方改革を一緒にやろう」と一人でも多くの未組織者に声をかけることが求められている。組織を拡大し、労働環境の改善を進めよう。

### 大盛況 春の実践講座& 専門職講座



未組織者も  
20人参加

久しぶりの対面での研修とあって、どの講座も学びたい意欲の先生で賑わった。新規採用の若い人も目立ち、和気あいあいとした中、突撃インタビューを中心に各参加者の声をお伝えする。

#### 音楽 / 木版画



★導入で子ども達を引きつけるには、どうしたらよいか色々聞くことができたが、特に早口言葉で外国の歌を歌う方法を実践してみたい。  
★コロナ禍の歌唱について、アイディアが欲しかったので参加した。今回、子どもたちがリズムで楽しめるアイディアを聞いたので、実践してみたい。

#### 献立づくり / 社会科地域学習



★知らなかったことが知れて良かった。彫刻刀の扱いは難しいし、実際やってみたいと分らない。もっと時間が欲しかったなと思う。

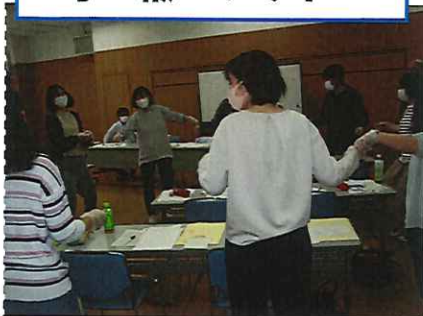
★採用されて2年目、不安がたたくさんあるし、忙しい毎日の中で、給食について考えなければならぬ状況だけど、今日の分科会に参加して見て、鉄分や塩分量なども考えて給食を考えていきたいと思った。  
★社会のフィールドワークは、とても楽しめた。子どもたちのわくわくする気持ちや疑問がどうやって出てくるか感じることができた。

#### 環境教育



★患者さんやミナマタとふれあっている方の話を初めて聞き、知ることができてよかった。ミナマタと他の差別がなくなっていて、そのことを子どもたちに自分の言葉で語れるようになりたい。

#### 学級づくり



★ちらしを見て、ドキドキして来た。遊びが学級づくりの根底にあること、子どもの仲間づくり、遊びが活かせることが分かった。

#### わくわく楽しい算数



★指導書通りの授業をしている。導入の工夫等とても勉強になった。子どもが興味を持つ大切さを学べた。多くの教材を紹介してもらい、参考になった。

#### 作文指導



★子どもたちの関係作りが大切だと思った。子どもの気持ちになつて参加した。引き込まれあつと言う間に時間が過ぎた。コロナ禍で研修の機会が奪われていた中、今回この機会があり、大変ありがたかったまた開催されたいと思う。

#### 親と子と教職員の

教育相談室より

相談員 河崎 醇二

#### 子どもは大人の鏡

子どもたちは、「生きる力」を弱めている。その現れとして、不登校、いじめ、身体の異常、心の荒れ、非行、問題行動、無気力、無感動等々が見られる。

「人のことを考えないで、一人よがりだ」「いじめがあるとすぐ強い方につく、正義感はあるのか」「思いやりがない」「自分を大切にしない」「もっと充実した生き方を」「何でも人のせいばかりにする」等々様々なことが言われる。

しかし、このことは、まさしく大人にもびつたり当てはまるものばかりである。子どもは大人の鏡なのだ。したがって、子どもたちの問題を解決していくということは、実は私達大人社会の問題を考えなければならぬということなのだ。

この重大で基本的なことを忘れなないようにしなければならない。

